

2020南関東支部 神奈川県大会(代替大会)実施要領

2020.7.6

南関東支部 競技部長 土岐 一寿

- ・ 日 程 予備日を含め8/2(日)～9/13(日)の期間で実施
※学校状況にもよりますが場合によっては土曜開催もあり。
- ・ 抽 選 会 無し(2年生大会方式を用いる)
- ・ 参 加 費 14,000円(抽選会がないため各ブロック長へ提出)
- ・ 形 態 トーナメント形式とする。
 - ・ 組合せは45チームのトーナメント
 - ・ 抽選を行わず日本選手権南関東支部予選の神奈川県敗戦チームより順に若い番号から組合せ。
 - ・ 予選リーグの敗戦チームは左右の山組に分けて組合せ。
 - ・ グラウンド提供その他の都合で順番を調整する場合があります。
- ・ 標準試合開始時刻 第1試合 9時、第2試合 11時、第3試合 13時(各会場の事情により変更あり)
- ・ 提供グラウンド 鶴見、横浜南、横浜旭、瀬谷、横浜泉、藤沢、厚木、平塚、小田原足柄
- ・ 試合形式 試合は7回戦とし、5回終了を以って正式試合とする。
4回終了時10点差、5回終了時以降7点差以上の場合コールドゲームとする。
ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない。

試合は2時間制限試合とし、5回以降試合開始から2時間を超えては新しいイニングに入らず、制限時間に達した時点でイニング(表裏)を最終回とし、そのイニング終了時点で同点の場合は、それ以降はタイブレーク方式を採用する。(4回終了以前に2時間が経過した場合でも試合が成立する5回終了まではそのまま継続して行なう)
ただし、決勝戦は2時間制限試合を適用しない。

7回終了時同点の場合は、2時間以内であっても延長戦は行なわず タイブレーク方式に入る。
タイブレーク方式は3イニングまで継続するが、未決着の場合は抽選とする。
決勝戦は7回終了時同点の場合は延長9回まで行ない、9回終了時なお同点の場合は10回からタイブレーク方式に入り、勝敗が決着するまで行なう。

荒天・日没 その他の理由により試合続行が不可能となった場合で、まだ試合が成立していないときには、後日前の試合のイニングと経過時間を引き継ぎ、特別継続試合を行なう。

投手の肘・肩の障害を予防するため、投球に関しては日本中学硬式野球協議会が定める『中学生投手の投球制限に関する統一ガイドライン』に従う。
- ・ 選手登録 三年生が26名以上在籍しているチームは、三年生29名まで登録可能とする。
その場合下級生は登録できない。(三年生を25名以上登録しようとする場合は下級生は登録できない)

三年生が30名以上在籍しているチームは、2チームの参加を認める。
※但し その場合は、それぞれのチームに3年生が15名以上登録されていなければならない。
- ・ 試合の予定 試合の予定は毎週水曜日までにブロック長経由で各チームに連絡する。
木曜日まで連絡がないときには、所属するブロック長に問い合わせのこと。
- ・ 中止の決定 第1試合の中止の決定は責任役員、責任審判員、グラウンド責任者が協議の上、原則当日朝8時以降に決定する。
- ・ チームの失格 試合開始予定時刻に不在チーム及び選手登録証が未提出のチームは失格となり、当日の試合は不戦敗となる。
※連盟大会規程細則の(9)～(14)の遵守。グラウンド到着後、速やかに以下を提出の事。
 - ・ メンバー表 ・選手登録カード ・指導者登録カード ・2チーム出場チームは選手登録書(ブロック長印)
 - ・ 指導者講習カード ・投球回数確認シート
- ・ グラウンド使用料 1試合当たり2,000円をグラウンド提供チームに支払う。
有料球場の場合は1試合当たり5,000円を責任チームに支払う。
- ・ 審判 自チームの大会会場に1～2名の派遣を要請する場合があります。